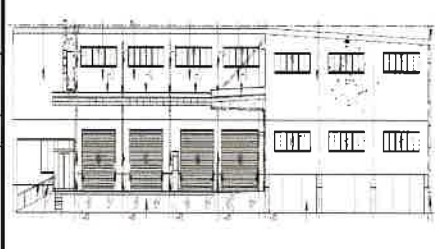


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)折勝物流センター新築工事	階数	地上2F
建設地	埼玉県比企郡小川町	構造	S造
用途地域	都市計画区域内	平均居住人員	70人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,056時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年9月3日
敷地面積	6,686 m <sup>2</sup>	作成者	クリエイティブ設計
建築面積	2,769 m <sup>2</sup>	確認日	2020年11月12日
延床面積	4,574 m <sup>2</sup>	確認者	寺澤 和利



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 77% (35 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 77% (35 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④ 上記+: 77% (35 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性: N.A. 耐用性: 3.0 対応性: 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.3

生物環境: 1.0 まちなみ: 1.0 地域性: 2.0

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮: 5.0 自然エネ: 3.0 設備システ: 5.0 効率的: 2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源: 2.2 非再生材料: 3.1 汚染物質: 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化: 3.9 地域環境: 3.3 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
設備システムの一次エネルギー量については良い結果にできた。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
計算対象外	鉄骨造とし、空間にゆとりを持たせた。	敷地内の緑化に努めた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
設備システムが高効率になるよう配慮した。	部材再利用の取組に配慮した。	地球温暖化に対して配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)折勝物流センター新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							2.1
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能			0.43				3.1		
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性		3.0	0.50				3.0		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途3種の全てB(40年以上)	5.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		2.6	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		2.0	0.20						

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.3</b>	0.50					<b>3.3</b>
3.1 空間のゆとり			<b>4.0</b>	0.30					
	1 階高のゆとり	平均階高:(3.80+3.97)/2=3.885	4.0	0.60					
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.11	4.0	0.40					
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.30					
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.40					
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20					
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20					
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10					
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10					
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20					
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20					
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.57</b>					<b>1.3</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30					<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>1.0</b>	0.40					<b>1.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>2.0</b>	0.30					<b>2.0</b>
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		<b>2.0</b>	0.50					
	3.2 敷地内温熱環境の向上		<b>2.0</b>	0.50					
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-					<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>					<b>4.2</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI <sub>m</sub> ]: 0.57	<b>5.0</b>	0.20					<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10					<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI <sub>m</sub> ]: 0.52	<b>5.0</b>	0.50					<b>5.0</b>
4 効率的運用			<b>2.0</b>	0.20					<b>2.0</b>
	集合住宅以外の評価		<b>2.0</b>	1.00					
	4.1 モニタリング		3.0	0.50					
	4.2 運用管理体制		1.0	0.50					
	集合住宅の評価		-	-					
	4.1 モニタリング		-	-					
	4.2 運用管理体制		-	-					
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>					<b>2.9</b>
1 水資源保護			<b>2.2</b>	0.20					<b>2.2</b>
	1.1 節水		<b>1.0</b>	0.40					
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60					
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70					
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30					
2 非再生性資源の使用量削減			<b>3.1</b>	0.60					<b>3.1</b>
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11					
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22					
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22					
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル系床材	3.0	0.22					
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-					
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨+LGS+仕上材	4.0	0.22					
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.0</b>	0.20					<b>3.0</b>
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30					
	3.2 フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.70					
	1 消火剤		-	-					
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50					
	3 冷媒		3.0	0.50					
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>					<b>3.4</b>
1 地球温暖化への配慮		LCCO2削減率 23%	<b>3.9</b>	0.33					<b>3.9</b>
2 地域環境への配慮			<b>3.3</b>	0.33					<b>3.3</b>
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器の使用無し	<b>5.0</b>	0.25					
	2.2 温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50					
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>2.5</b>	0.25					
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25					
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25					
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25					
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25					
3 周辺環境への配慮			<b>3.0</b>	0.33					<b>3.0</b>
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		<b>3.0</b>	0.40					
	1 騒音		3.0	1.00					
	2 振動		-	-					
	3 悪臭		-	-					
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		<b>3.0</b>	0.40					
	1 風害の抑制		3.0	0.70					
	2 砂塵の抑制		1.0	-					
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30					
	3.3 光害の抑制		<b>3.0</b>	0.20					
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70					
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30					

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)折勝物流センター新築工事	BEE	0.7	BEEランク	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.9	+	2.0	=	5.9 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
LCCO2削減率 23%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
特になし			

 : 入力欄